

# 教員紹介

**NAME 氏名 職階**  
 研究テーマ  
 『主な著書』(発行所 発行年)  
 『論文』(収録誌) 発行所 発行年

## 哲学歴史学科 / 哲学歴史学科専攻 哲学コース / 哲学専修

**Tadashi MINO 美濃 正 教授**  
 現代英米の心の哲学および形而上学。  
 共編著『デカルトをめぐる論議』(京都大学学術出版会 2013)  
 『これが応用哲学だ!』(大隈書店 2012)

**Takashi NAKAHARA 仲原 孝 教授**  
 宗教学、宗教と哲学の関係。カントやハイデガーを中心とする近現代ドイツの宗教哲学の研究。  
 『ハイデガーの根本洞察』(昭和堂 2008)

**Tomohiro TAKANASHI 高梨 友宏 教授**  
 ドイツ近現代美学、近代日本の芸術論。  
 『西洋近現代美学の一概念』(加藤尚志・平尾昌弘編著『哲学の眺望』晃洋書房 2009)

**Takashi TSUCHIYA 土屋 貴志 准教授**  
 倫理学、医療倫理学、人権問題研究。  
 共著『医学研究』(丸善出版 2012)

## 日本史コース / 日本史学専修

**Takashi TSUKADA 塚田 孝 教授**  
 日本近世史、とくに近世身分制の研究、大坂の都市社会史や和泉をフィールドとした地域史。  
 『近世身分社会の捉え方——山一』(出版社高校日本史教科書を通して) (部落問題研究所 2010)  
 『大坂の非人——乞食・四天王寺・転びキリシタン』(ちくま新書 2013)

**Hiroshi NIKI 仁木 宏 教授**  
 日本中世史、都市史、地域社会史。現在とはりわけ、室町〜織田・豊臣期の、全国の港町、城下町に興味をもって研究している。  
 『京都の都市共同体と権力』(思文閣出版 2010)

**Ashita SAGA 佐賀 朝 教授**  
 日本近現代史、特に近代大阪の都市社会史・地域社会史、近年は近世の遊廓社会史も。  
 『近代大阪の都市社会構造』(日本経済評論社 2007)  
 共編著『シリーズ遊廓社会1』(吉川弘文館 2013・14)

**Noofumi KISHIMOTO 岸本 直文 准教授**  
 日本考古学、古墳時代の研究。現在は、近畿と各地の古墳時代について、前方後円墳の形態分析を通じて、古墳時代における政治的動向を探ることを目指している。  
 編著『史跡で読む日本史2古墳の時代』(吉川弘文館 2010)

**Toru IWASHITA 磐下 徹 講師**  
 日本古代史。  
 (郡司制度の研究、古記録の註釈)  
 『郡司諸弟考』(『ヒストリア』第227号、大阪歴史学会 pp.1-27 2011)

## 世界史コース / 東洋史学専修

**Toru INOUE 井上 徹 教授**  
 中国の明清時代及び近代を中心とする社会史。特に中国の家族、宗教、民族、都市、交易の諸問題の探求。  
 『海域交流と政治権力対峙』(汲古書院 2011)

**Shigeki HIRATA 平田 茂樹 教授**  
 中国の近世史。科挙・官僚制を中心とする政治構造の歴史。  
 『宋代政治構造研究』(汲古書院 2012)  
 『宋代政治構造研究』(上海古籍出版社 2010)

**Chikayoshi NOMURA 野村 親義 准教授**  
 近現代インド史。  
 "Selling steel in the 1920s: TISCO in a period of transition" (*The Indian Economic and Social History Review*, Delhi, vol.48-1, pp.83-116, 2011)

**Masayuki UENO 上野 雅由樹 講師**  
 西アジア・中東近代史、オスマン帝国史。  
 "For the Fatherland and the State": Armenians Negotiate the Tanzimat Reforms" (*International Journal of Middle East Studies* vol.45 (1), pp.93-109, February, 2013)

## 世界史コース / 西洋史学専修

**Syunji OGURO 大黒 俊二 教授**  
 中世・ルネサンス期のイタリアおよび地中海世界の社会史、経済史。  
 『声と文字』(岩波新書 2010)  
 『嘘と貪欲——西欧中世の商業・商人観』(名古屋大学出版会 2006)

**Masafumi KITAMURA 北村 昌史 教授**  
 近現代ヨーロッパ、とくにドイツの社会史。  
 『ドイツ統一と第二帝国』(山崎・上垣豊・山田史郎・杉本彦彦編著『大学で学ぶ西洋史』近現代) ミネルヴァ書房 2011)

**Hisatsugu KUSABU 草生 久嗣 講師**  
 ビザンツ史、ヨーロッパ中世史、宗教問題史、異端学。  
 『ビザンツの『神秘主義』と『異端』』(『エクブラシス』第2号、早稲田大学ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所、pp.17-27 2012)

## 人間行動学科 / 人間行動学専攻 社会学コース / 社会学専修

**Yuzo SHINDO 進藤 雄三 教授**  
 理論社会学・医療社会学・家族社会学を専攻。現在の主な研究テーマは現代社会理論・医療専門職論・近代家族論研究。  
 共著『社会学』(医学書院 2012)

**Saeko ISHITA 石田 佐恵子 教授**  
 メディア文化研究、映像社会学。  
 共編著『ポピュラー文化ミュージアム』(ミネルヴァ書房 2013)  
 共編著『ポスト韓流のメディア社会学』(ミネルヴァ書房 2007)

**Noriko IJICHI 伊地知 紀子 教授**  
 社会人類学・朝鮮半島地域研究。  
 『日本人学者が見た済州人の生——生活世界の創造と実践』(済州大学校職文化研究所 2013 韓国語)  
 共著『在日コリアン辞典』(明石書店 2010)  
 共著『昔話で学ぶ韓国語中級リーディング』(アルク 2011)

**Eiji KAWANO 川野 英二 准教授**  
 社会政策の社会学・比較社会学。  
 『大阪市民の貧困観と近隣効果——貧困層は対立しているのか?』(『貧困研究』第9号、貧困研究会、pp.18-29 2012)

**Hideaki SASAJIMA 笹島 秀晃 講師**  
 都市社会学。  
 "From Red Light District to Art District: Creative City Projects in Yokohama's Kogane-cho Neighborhood" (*Cities*, 33 2012)

## 心理学コース / 心理学専修

**Tomoko IKEGAMI 池上 知子 教授**  
 社会心理学: 対人認知、偏見とステレオタイプ、社会的アイデンティティと社会システムの関係。  
 『格差と序列の心理学——平等主義のパラドクス——』(ミネルヴァ書房 2012)

**Hiroshi YAMA 山 祐嗣 教授**  
 認知心理学: 推論、思考の潜在性・顕在性、比較文化研究。  
 『思考: 進化・文化——日本人の思考力』(ナカニシヤ出版 2003)

**Kouichi KAWABE 川邊 光一 准教授**  
 生理心理学: 高次認知機能 (特に学習・記憶) の脳内機構、精神疾患動物モデルに関する行動薬理学的研究。  
 "Effects of neonatal repeated MK-801 treatment on delayed nonmatching-to-position responses in rats" (*NeuroReport*, Vol.19, No.9, pp.969-973, 2008)

**Daisuke SAEKI 佐伯 大輔 准教授**  
 学習心理学: 判断、意思決定、選択、推論。  
 『価値判断の心理学——動物行動から経済現象まで』(昭和堂 2011)

## 教育学コース / 教育学専修

**Takamasa YUASA 湯浅 恭正 教授**  
 教育方法学、生活指導とインクルージョン教育、特別なニーズ教育の授業論。  
 共著『新しい時代の教育の方法』(ミネルヴァ書房 2012)

**Atsushi KASHIWAGI 柏木 敦 教授**  
 日本教育史、初等教育制度政策史。  
 『日本近代就学慣行成立史研究』(学文社 2012)

**Haruo SOEDA 添田 晴雄 准教授**  
 比較教育文化史、教育・学習における話すことと聞くことの研究、いじめ問題の国際比較。  
 共訳『進歩主義教育の終焉——イングランドの教師はいかに授業づくりの自由を失ったか——』(千景書館 2013)  
 共編『世界のいじめ』(金子書房 1998)

**Jun TAKIZAWA 滝沢 潤 准教授**  
 教育行政学、教育制度学、アメリカ合衆国における言語マイノリティ教育政策に関する研究。  
 共著『新しい時代の教育制度と経営』(ミネルヴァ書房 2009)

**Hisayoshi MORI 森 久佳 准教授**  
 教育学 (教育方法論、カリキュラム論、教師論)。  
 共編『子どもと関わる』(ブイツーソリューション 2013)  
 共著『教師の仕事と求められる力量』(あいり出版 2011)

## 地理学コース / 地理学専修

**Shigeaki OBA 大場 茂明 教授**  
 都市政策とまちづくり、ドイツ地域研究。  
 『グローバル化時代における EU 成長都市圏の地区更新戦略——ハンブルクを事例として——』(『日本都市学会年報』、日本都市学会、Vol.46 2013)

**Toshio MIZUUCHI 水内 俊雄 教授(兼任)**  
 都市の社会問題・住宅問題・ホームレス問題の現状やまちづくりの歴史的経緯についての社会地理学的研究。  
 共著『モダン都市の系譜』(ナカニシヤ出版 2008)

**Takashi YAMAZAKI 山崎 孝史 教授**  
 グローバルな政治経済の変動とローカルな政治・社会運動に関する地理学的研究、沖縄研究。  
 『政治空間場所——「政治の地理学」にむけて [改訂版]』(ナカニシヤ出版 2013)

**Ryoji SODA 祖田 亮次 准教授**  
 人文地理学、人口移動、資源利用・管理、災害文化、東南アジア地域研究。  
*People on the move: rural-urban interactions in Sarawak.* (Kyoto University Press and Trans Pacific Press, 2007)

**Yoshinari KIMURA 木村 義成 准教授**  
 地理情報システム、保健医療分野におけるGISの応用研究。  
 "Geodemographics profiling of influenza A and B virus infections in community neighborhoods in Japan" (Yoshinari Kimura, et al, *BMC Infectious Diseases*, 11:36, 2011)

言語文化学科 / 言語文化学専攻  
国語国文学コース / 国語国文学専修

**Masahiro MURATA 村田 正博 教授**  
古代の文学者たち、人麻呂や家持は詩歌にどんな志を託したか、我々はそれをいかに受け取るか、作品に目をこらして究明。  
『萬葉の歌人とその表現』(清文堂 2003)

**Tetsuya NIWA 丹羽 哲也 教授**  
日本語の意味と文法。普段使っている言葉がどのような仕組みでできており、それが過去から現代までいかに変化してきたかという研究。  
『日本語の題目文』(和泉書院 2006)

**Naoki KOBAYASHI 小林 直樹 教授**  
中世の説話伝承文学。とりわけ現在は、遁世僧の文学世界を中心に研究を進めている。  
『中世説話集とその基盤』(和泉書院 2004)

**Hiroaki KUBORI 久堀 裕嗣 准教授**  
近世文学、おもに人形浄瑠璃史の研究。  
共編著『上方文化講座 菅原伝授手習唄』(和泉書院 2009)  
共編著『上方文化講座 義経千本桜』(和泉書院 2013)

**Kumiko OKUNO 奥野 久美子 准教授**  
芥川龍之介など大正時代の小説。特に大衆演芸からの影響について。  
『芥川作品の方法』(和泉書院 2009)

中国語中国文学コース / 中国語中国文学専修

**Tsuneo MATSUURA 松浦 恆雄 教授**  
19世紀末以降の中国近現代文学、および演劇。  
共編『帝國主義と文学』(研文出版 2010)

**Mari IWAMOTO 岩本 真理 教授**  
近世から現代にいたる中国の語彙・語法の変遷。唐詩資料にみえる近世中国語の日本における定着と変容。  
『清代民国漢語文献目録・唐詩資料』(学古房(韓国) 2011)

**Shinmin CHO 張 新民 教授**  
現代中国文化論及び映画研究。初期中国映画について、その社会的地位の構築という角度から研究。日中戦争中の上海や華北などの所謂「淪陷区」の映画研究。

**Koji OIWAMOTO 大岩本 幸次 准教授**  
中国語音韻史、中国古代理字書史。  
『金代字書の研究』(東北大学出版会 2007)  
『皇極經世解教義録「聲音韻譜」校異記』(臨川書店 2011)

英米言語文化コース / 英語英米文学専修

**Masashi SUGII 杉井 正史 教授**  
シェイクスピアの喜劇『十二夜』の研究。  
『お気に召すまま』と『キャンパル趣味』(『人文研究』第62巻 2011)

**Takanobu TANAKA 田中 孝信 教授**  
文学テキストと大衆メディアとの関係の研究。  
『Dickens in Japan: Bicentenary Essays』(Osaka Kyokyo Toshu, 2013, coauthorship)

**Ion RICHARDS イアン・リチャーズ 准教授**  
New Zealand literature.  
『Do-It-Yourself History: A commentary on Maurice Shadbolt's "Ben's Land"』(Lonley Arts Publishing, Auckland 2011)

**Tetsuo KOGA 古賀 哲男 准教授**  
アメリカ文学(黒人詩研究)。  
『大衆詩における独創とはなにか—「豹と鞭」におけるヒューズの編集意識—』(『黒人研究』82, pp.22-29 2013)

ドイツ語フランス語圏言語文化コース / ドイツ語フランス語圏言語文化学専修  
ドイツ語圏言語文化領域

**Michio KAMITAKE 神竹 道士 教授**  
言語学、ドイツ語学、ドイツ語文法理論。特に16世紀以降の標準ドイツ語形成過程を研究。  
教科書『ドイツ文法ベーシック3』(朝日出版社 2014)

**Kinuko TAKAI 高井 絹子 准教授**  
19世紀以降のドイツ語圏文化・文学。  
『50年代のインゲボルグ・バハマン』(『ドイツ文学論叢』第52号 2010)

**Ken-ichi HASEGAWA 長谷川 健一 講師**  
18・19世紀のドイツ語圏の文化・文学。  
共著『ドナウ河—流域の文学と文化—』(晃洋書房 2011)

フランス語圏言語文化領域

**Hiroyuki TSUGAWA 津川 廣行 教授**  
ジイド、ヴァレリー、ブルースト、クローデルなど20世紀フランスの小説や思想の研究。  
『象徴主義以降—ジイド、ヴァレリー、ブルースト—』(駿河台出版社 2006)

**Yoshiyuki FUKUSHIMA 福島 祥行 教授**  
ひととはどのように通じあうのかの研究。相互行為論、コミュニケーション研究、言語学習(学びあい、協働、ポートフォリオ)、フランス言語学、劇場論(都市とアート)、フランス語圏学。  
『都市・境界・アート—コミュニケーション空間の相互行為的生成とつて—』(『URP GEOEDOCUMENT』13, 水曜社 2012)

**Yuki SHIRATA 白田 由樹 准教授**  
19世紀末フランスの文化、メディアとジェンダー表象の研究。  
『サラ・ベルナール—メディアと虚構のミューズ—』(大阪公立大学共同出版会 2009)

言語応用コース / 言語応用学専修

**Shigeki SEKI 関 茂樹 教授**  
統語論、語用論。英語などの言語に見られる形式と意味との対応関係の機能的観点からの研究。  
『英語指定文の構造と意味』(開拓社 2011)

**Yukio IKARI 井狩 幸男 教授**  
母語獲得メカニズムの解明に向けた神経心理言語学研究。  
『バイリンガリズム入門』(山本雅代 編著 井狩幸男・田浦秀幸・難波和彦 著 大修館書店 2014)

**Masato YAMAZAKI 山崎 雅人 教授**  
言語構造論、言語情報論。言葉の仕組みをさまざまな面から論じる。

**Kazuhiko TANAKA 田中 一彦 教授**  
英語における特殊な過去完了形の用法について、willはテンスかモダリティか。  
『過去完了形の使用を保証するオリエンテーション・タイム』(『言語情報学研究』vol.8 2012)

表現文化コース / 表現文化学専修

**Masako MIKAMI 三上 雅子 教授**  
現代演劇研究。  
『恋する男と行動する女—宝塚歌劇における男性像—』(『表現文化』大阪市立大学大学院文学研究科表現文化学教室 No.6 2011)

**Noriyuki NOZUE 野末 紀之 教授**  
ウォルター・ペイターと19世紀イギリスの文体思想。  
『「ジョルジョーネ派」の批評言語』(『ペイター「ルネサンス」の美学』論創社 2012)

**Akihiro ODANAKA 小田中 章浩 教授**  
表象としての記憶喪失：文学、映画、演劇、マンガ、ゲームなどにおいて記憶喪失というモチーフがどのように扱われているか。  
『現代演劇の地層』(ベリかん社 2010) 2011年度日本演劇学会「河竹賞」受賞

**Yoko TAKASHIMA 高島 葉子 准教授**  
比較文学・比較文化、民間説話・民間伝承(特に妖精伝承)の比較文化的研究。

**Takeshi EBINE 海老根 剛 准教授**  
ドイツ文化研究、映像論。  
『すれ違うふたつのメディア映像—映画とビデオを再考する—』(『ASPEKT』立教大学ドイツ文学研究 45号 2012)

アジア都市文化学専攻

**Shirou KOUSAKA 高坂 史朗 教授**  
東アジア思想史。  
『韓国の西洋思想受容史』(李光来著 高坂史朗・柳生真共訳 御茶の水書房 2010)

**Shin NAKAGAWA 中川 眞 教授**  
アーツマネジメント、サウンドスケープ、東南アジアの音楽・舞踊。  
『これからのアートマネジメント—ソーシャルシェアへの道』(フィルムアート社 2011)  
『アートの力』(和泉書房 2013)

**Mitsuhiko NOZAKI 野崎 充彦 教授**  
15世紀朝鮮士大夫の民族アイデンティティをめぐるとの言説。  
共著『韓国の古典小説』(ベリかん社 2008年)  
訳書『洪吉童伝』(平凡社 東洋文庫 2010年)

**Hiroshi TAWADA 多和田 裕司 教授**  
アジア諸地域の文化人類学的研究、現代社会におけるイスラーム。  
『マレニオニステームの人類学』(ナカニシヤ出版 2005)  
共編著『イスラーム社会における世俗化、世俗主義、政教関係』(上智大学アジア文化研究所 2013)

**Satoshi MASUDA 増田 聡 准教授**  
ポピュラー音楽研究、都市大衆文化研究、文化所有論(著作権、作者論など)。  
『聴衆をつくる—音楽批評の解体文法』(青土社 2006)

**Keita AMANO 天野 景太 准教授**  
観光学(都市観光論・観光メディア論・ニューツーリズム論)、社会学(都市・地域社会文化論)。  
『携帯位置情報ゲームと観光経験:ゲーミング・ツーリズムの実態と展望』(『論叢 国際関係学部』東京国際大学 2011)

特任教員

- ドイツ語フランス語圏言語文化学専修  
Simon OERTLE ジモン・エルトレ 特任講師  
Laurent BAREILLE ロラン・バレイコ 特任講師
- 表現文化学専修  
Nobuhiko ASAOKA 浅岡 宣彦 特任教授

(2014年8月現在)